

バッテリーチェックはOKですか？ 冬に備える メンテナンスの重要性

寒さ厳しい信州の冬。冬対策は万全ですか？ 目に見えず、普段はあまり気にしていないバッテリーですが、冬は特に要チェックです。今回は、バッテリーのメンテナンスに関するお話です。併せて、冬の安全運転や雪道走行についてもご紹介します。



私たちがご案内します

長野日産自動車 長野大橋店 店長 町田 一行
長野日産自動車 長野大橋店 サービスマネージャー 井原 利光

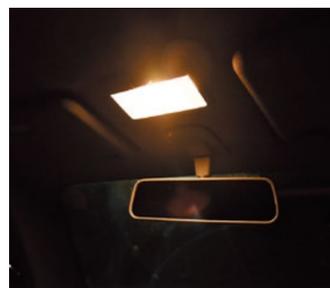
その他、
バッテリーに関する
ことで普段注意する
ことは？



バッテリーを見ることができる車種の場合は、液が適量かのチェックすることができます



近年の日産車には自動でライトが点灯するオートライト機能が付いているので消し忘れ防止に



室内灯の消し忘れはエンジンがかかっても、バッテリー劣化の危険性があります

冬の走行時の注意事項



e-Pedalオンの時は減速&停止もアクセルペダルだけでOK。急ブレーキになりません

雪道はe-Pedalとやさしい運転をしてくれるエコモードで走行すればより安全

冬の運転で重要なことは、急発進、急加速、急ブレーキなど「急」の付く運転を避けることが一番重要です。積雪時にはゆっくりと走ることはもちろん、歩道、側溝の境界が分かりにくくなっているので、轍に沿って走ることも大切です。e-Pedalが付いている車の場合は、必ず使用しましょう。ストップ時に自動減速するのでタイヤスリップの心配が軽減されます。

冬の運転、
雪道の走行には十分
注意しましょう



フロントガラスの
曇り止めや霜取り対策
を教えます



雪の日や曇天時は視界が悪くなる冬。フロントガラスはいつもクリアな状態で走りたいものです。走行中にフロントガラスが曇った場合は、すぐにエアコンのスイッチを入れてください。デフロスターをオン(フロントガラスに風があたるよう)にし、風の吹き出し口を外気導入にしてください。霜取りにはデフロスターオン+暖機運転が有効です。

遠隔でエンジンを始動することができるエンジンスターターは暖機に便利



エンジンスターターは古い車でもどんな車種であっても、後から付けることができます。



エアコンの設定温度を上げ、フロントボタンをオン。後部が曇っている際はリアボタンもオン

EV車やe-POWER車は
特にバッテリーを
消費します



アイドリングストップ車(左)、ハイブリット車用(右)など車に合ったバッテリーを使用しましょう



バッテリーは車に
欠かせない大切な
アイテムです



バッテリーの劣化に気付くのは自らの点検では難しいです。

特に冬はバッテリー上がりが多いため、安心のためにも店舗でプロのチェックを！



プリンターで検査結果が出るので分かりやすい



専用の機械を使用しバッテリーチェックをします

車はエンジンだけでは走ることはできません。エンジンを始動するためには電気が必要で、電気を蓄え、供給する役割がバッテリーです。バッテリーは車内エアコンを使う暑い夏にかなり消耗し、気温が下がる冬になると性能がダウンします。バッテリーの交換の目安は一般的に2年から3年と言われていますが、ある日突然「エンジンがかからない！」なんてことにならないためにも、一度お店にお越しただいでバッテリー点検をおすすめします。

最新の車は電気を使う電装品が多く、ナビや安全装備などで多くの電力を使っています。性能向上などにより、バッテリーの劣化を体感しにくく、ダメになる直前まで最大限の性能を発揮し続けます。そのため予兆なくバッテリーがダメになり、エンジンがかからなくなることも。一昔前のバッテリーとは大きく異なるので、バッテリーチェックはぜひ店舗にお任せください。また、バッテリーはさまざまな種類があり、車種により設置場所や形態もさまざまです。



EV車



セレナ

右はセレナのバッテリー、左はEV車のバッテリー。EV車は後部トランク下に設置してあります



短距離走行を繰り返している車は、特に発電時間が短いので注意が必要です。

バッテリー上がり、雪道でのトラブル、 いざという時の対処法

「エンジンがかからない」、「雪道でスタックしてしまった」などのトラブルが発生してしまった時、自力で何とかしようとするのは、かえって危険になります。まずは長野日産自動車/日産サティオ松本の各店舗に連絡するか、JAF、保険会社などに加入しているのであればすぐに連絡することをおすすめします。

店舗の営業時間外に車のトラブルが...! そんな時は

営業時間外 緊急受付センター

※ただし、営業時間内は利用できません。各店舗へご連絡下さい。

フリーダイヤル
0120-176-119